

## 臨床検体使用に関するお知らせ

### 『研究課題名 C 型慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法後 SVR 症例の当院における発癌症例の検討』

#### 【研究の背景および目的】

HCV 感染の慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法の進歩により、ほとんどの症例でウイルス排除 (SVR: sustained virological responder 持続性ウイルス学的著効) の達成が可能となりつつあります。しかし、SVR が達成されたにも関わらず、その後の経過で発癌する症例が認められるようになってきています。そこで SVR 後に発癌した症例を検討し、発癌のリスク因子を明らかにすることを目的としました。SVR 後の発癌のリスク因子が明らかになれば、SVR が得られた症例において、発癌危険群の洗い込みが有用であると考えられます。

そこで、東邦大学医療センター大森病院消化器内科では、C 型慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法後 SVR 症例の当院における発癌症例を検討し、発癌危険群を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、C 型慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法後 SVR 症例における発癌の早期発見および早期治療に繋がります。

#### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。2001 年 5 月から 2014 年 9 月までに、当科で HCV 感染に対して抗ウイルス療法を施行し、SVR が得られた症例を対象として、SVR 後に発癌を来した群 (発癌群) と、SVR 後に発癌していない群 (非発癌群) とで比較検討を行います。具体的には、採血データ・基礎疾患の有無・飲酒量・肝生検の A 因子と F 因子について、統計学的な解析を行います。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や血清解析結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

#### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

消化器内科

職位・氏名 准教授 永井 英成

電話 03-3762-4151 内線 6520